

不要資産の処分状況

中日本高速道路㈱では、債務の早期償還と固定比率の最小化という考え方のもと、不要資産の処分を進めています。
平成30年3月末時点の処分状況は、次のとおりです。

・平成26年度以前	…	131箇所(戸)	2415百万円(簿価)	} 142箇所(戸)、2596百万円(簿価)
・平成27年度	…	6箇所(戸)	106百万円(簿価)	
・平成28年度	…	2箇所(戸)	21百万円(簿価)	
・平成29年度	…	3箇所(戸)	54百万円(簿価)	

◆ 不要資産の処分状況

	平成26年度以前	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計	
未利用地(箇所)	84	5	0	2	91	
社 宅	建物数	44	1	2	1	48
	戸数	170	34	30	18	252
保養施設(箇所)	2	0	0	0	2	
分 室(箇所)	1	0	0	0	1	
計	131	6	2	3	142	

※民営化後に不要資産として追加し、処分したものを含む(用途変更等も含む)

	平成26年度以前	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
簿 価(百万円)	2,415	106	21	54	2,596
売却額(百万円)	2,471	191	45	39	2,746
損 益(百万円)	+ 56	+ 85	+ 24	- 15	+ 150

◆ 旧日本道路公団において処分することとされた不要資産の処分状況

	当初対象資産 (日本道路公団)	民営化まで の処分数	対象資産数 (民営化当初)	左記のうち 中日本会社 対象資産(A)	処分数 (B)	進捗率 (B/A)
未利用地	769箇所	538箇所	231箇所	83箇所	63箇所	75.9%
社 宅	709戸	601戸	108戸	2戸	2戸	100.0%
	戸 建	81戸	52戸	1戸	1戸	100.0%
	マンション	51戸	50戸	1戸	1戸	100.0%
保養施設	26箇所	20箇所	6箇所	2箇所	2箇所	100.0%
分 室	15箇所	6箇所	9箇所	2箇所	1箇所	50.0%
総合研修所	1箇所	1箇所				
計	1520箇所(戸)	1166箇所(戸)	354箇所(戸)	89箇所(戸)	68箇所(戸)	76.4%
簿 価(百万円)	56,210	13,326	4,833	835	669	80.1%

※民営化後に不要資産として追加し、処分したものを除く

東日本高速道路㈱

西日本高速道路㈱